

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和3年度報告)

市町名: 庄原市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										①目標値(※)	②実績値	②÷①	③目標値(※)	④実績値	④÷③	
庄原市有害鳥獣対策協議会	庄原市	H30	イノシシ カラス	箱わな導入	10基	協議会	H31.2	100%	侵入防止柵・箱わなの 設置による一定の効果 は出てきているが、イノ シシの個体数が増加傾 向にあるため、農作物被 害、捕獲数は増加してい る。	千円			ha		本市において鳥獣被害は、平成22 年度のイノシシ大量出没による農作 物被害の急増に伴い、本事業に取り 組んできた。その結果、本事業の効 果もあり、鳥獣被害は26年度には急 激に減少し、以降は横ばい傾向に あった。侵入防止柵・箱わなの設置 による一定の効果は出てきている が、平成30年から令和2年はイノシ シによる農作物被害が増加し、令和 2年からはシカによる農作物被害も 散見され始めた。 今後も、個体数の管理、環境整備 及び学習会の開催などソフト面の充 実を図る。	
				侵入防止柵設置	2,000m	地元集落	H31.1	100%		11,695	28,357	242%	47.77	29.72		62%
		R元	サル サキ類・カワ	箱わな導入	8基	協議会	R2.2	100%		1,969	0	-	0.96	0		-
				侵入防止柵設置	14,673m	地元集落	R2.1	100%		39	0	-	0.03	0		-
		R2	シカ ツキノワグマ アライグマ ヌートリア	箱わな導入	8基	協議会	R3.2	100%		30	0	-	0.01	0		-
				侵入防止柵設置	14,176m	地元集落	R3.3	100%		9	2,119	23544%	0.02	1.28		6400%
							772	1,636	212%	0.77	0.68	88%				
							0	6	皆増	0	0.004	皆増				
							4	701	17525%	0.02	0.70	3500%				

注1) 被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2) 達成率の算出方法については「実績値(=基準年値ー実績値)÷目標値(=基準年値ー目標値)」であるとして算出してください。

※「目標値」とは、被害減少の目標値(この数値内に抑えるもの)として被害防止計画で設定したものです。

2 第三者の意見

コメント:
平成26年度からの減少・被害の低減は事業の取り組みにより一定の効果があったものと考えます。しかし令和2年から被害が増加、またシカの被害も出てきたことから、引き続き被害防止対策を行うとともに新たな取り組みの必要があると考えます。
イノシシ・シカについては生息区域が拡大しており、またヌートリア・アライグマ等外来生物は繁殖力も強く生息数・生息域の拡大の懸念があります。これらの生息・被害の実態把握を行い、より効率的な有害鳥獣対策を継続していくことが重要と考えます。
北部農林水産事務所 林務第一課長 櫻井潤一

注) 第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。